

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

BT

(11)Publication number : 04-006030

(43)Date of publication of application : 10.01.1992

(51)Int.Cl.

B65B 67/12

(21)Application number : 02-092687

(71)Applicant : UBE IND LTD

(22)Date of filing : 07.04.1990

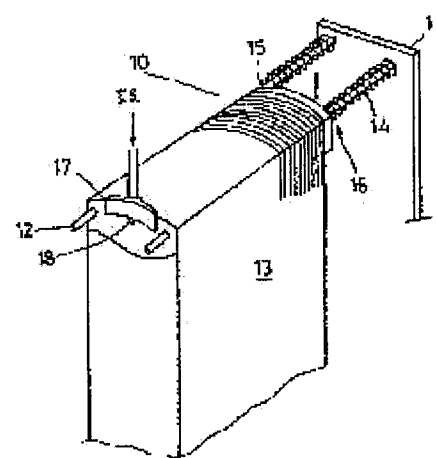
(72)Inventor : SUWA AKITOSHI  
FUKUDA TORU

## (54) HOUSING DEVICE FOR PLASTIC BAG

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To facilitate putting in of a wet umbrella or the like by a method wherein an air introducing mechanism for blowing air out toward an opening part of a plastic bag is provided at a stopper for the plastic bags which is provided at a takeout end of a guiding mechanism.

**CONSTITUTION:** A guide bar 12 is mounted and inserted with a spring mechanism 16 which consists of a spring 14 and a plastic bag pushout tool 15 in the vicinity of a side plate 11, and the spring mechanism 16 presses plastic bags 13 toward a takeout end at the other end of the guide bar 12. At the takeout end, a stopper 17 is provided for the plastic bags 13 to prevent the bags 13 from being pushed out by the force of the spring 14. The stopper 17 is provided with an air blow-off port 18 for blowing out air from an air supplying source such as a blower. The air blow-off port 18 blows out air toward an opening part of the plastic bag 13 to open it. Accordingly, a user can use the plastic bag 13 which has already been opened at the tip end when taken out of the guide bar 12.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the  
examiner's decision of rejection or application  
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑮ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平4-6030

⑤ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成4年(1992)1月10日

B 65 B 67/12

D

6671-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

① 発明の名称 プラスチックス製袋の格納装置

② 特 願 平2-92887

② 出 願 平2(1990)4月7日

③ 発 明 者 諏 訪 昭 俊 神奈川県鎌倉市十二所912

③ 発 明 者 福 田 徹 埼玉県三郷市早稲田3-19-1-303

⑦ 出 願 人 宇部興産株式会社 山口県宇部市西本町1丁目12番32号

⑧ 代 理 人 弁理士 渡邊 一平 外2名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

プラスチック製袋の格納装置

## 2. 特許請求の範囲

(1) ガイド用の穴を有するプラスチック製袋を多数吊下げ収納してなるプラスチック製袋の格納装置において、

プラスチック製袋を吊下げるガイド、及び該ガイドの一方の端部からプラスチック製袋を他方の取出し端へ押し付けるバネ機構とから成るガイド機構と、

ガイド機構の取出し端に設けられたプラスチック製袋のストッパーと、

を備え、かつ、該ストッパーは空気をプラスチック製袋の開口部に向かって吹出す空気導入機構を設けたことを特徴とするプラスチック製袋の格納装置。

## 3. 発明の詳細な説明

、さらに詳しくは、プラスチック製袋を格納し、それを取り出す時に、利用者の便宜を図るために、プラスチック製袋を1枚ずつ口を開いた状態で取り出せるようにしたプラスチック製袋の格納装置に関する。

## 【従来の技術】

従来、スーパーマーケットの出口等に、購入品を包装するために設置された包装用ビニール袋等のプラスチック製袋や、入口に隠れた雨傘を入れるために設置された雨傘用袋は、プラスチック製袋の格納箱、格納装置から、利用者が1枚ずつ取り出し、その都度、密着した状態から開口部を見つけ、指先で開口部を開いて使用していた。

## 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、これらのプラスチック製袋はポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニル等を原料とし、これに可塑剤を添加して製造されており、格納箱、格納装置にはロール状または折

## 特開平4-6030(2)

が開口部を見つけ、それを開くのに手間がかかっているのが現状である。特に、子供や老人にとっては非常に煩わしいことであった。

## 〔課題を解決するための手段〕

そこで、本発明者は、上記した従来のプラスチック製袋の格納装置における問題に着目し、子供や老人でも容易に利用できる装置を種々検討した結果、本発明を開発するに至ったものである。

すなわち、本発明によれば、ガイド用の穴を有するプラスチック製袋を多数吊下げ収納してなるプラスチック製袋の格納装置において、

プラスチック製袋を吊下げるガイド、及び該ガイドの一方の端部からプラスチック製袋を他方の取出し端へ押し付けるパネ機構とから成るガイド機構と、

ガイド機構の取出し端に設けられたプラスチック製袋のストッパーと、

を備え、かつ、該ストッパーは空気をプラスチック製袋の開口部に向かって吹出す空気導入機構を設けたことを特徴とするプラスチック製袋の格納

装置が、提供される。なお、本実施例ではガイド棒は2本であるが、必要に応じて1本、または3本以上使用する。

ガイド棒12には、側板11に近接して、スプリング14とプラスチック製袋押出し器具15からなるパネ機構16が設置・挿入され、プラスチック製袋13を他方の取出し端の方向に押し付けている。この取出し端には、プラスチック製袋13のストッパー17が設けられており、プラスチック製袋13がスプリング14の力によって押出されるのを防止している。

このストッパー17には図示しないブロー等の空気供給源からの空気を吹出すための空気吹出し口18を設けてあり、プラスチック製袋13の開口部に向かって空気を吹き出し、プラスチック製袋13の開口部を開ける。従って、利用者は、先端部の開口されたプラスチック製袋13を取り出して使用することができる。

装置が、提供される。

## 〔作用〕

ガイドに吊下げられた多数のプラスチック製袋は、一方の端部からパネ機構により他方の取出し端へ押し付けられる。また取出し端には、ストッパーが備えられ、プラスチック製袋がパネの力で押出されないようにしている。

ストッパーには、空気導入機構が付設されており、ここから空気がプラスチック製袋の開口部に向かって吹出すことにより、プラスチック製袋1枚1枚の口を開かせるため、濡れた傘等を容易に入れることが可能となる。

## 〔実施例〕

以下、本発明を図示の実施例に基いて更に詳しく説明するが、本発明はこれらの図示例に限られるものではない。

第1図は本発明の格納装置の一例を示す斜視図である。

格納装置本体10は、側板11と、側板11の上方に設けられプラスチック製袋13を多数吊

下げるガイド棒12とから構成される。なお、本実施例ではガイド棒は2本であるが、必要に応じて1本、または3本以上使用する。

また、空気は常時少量づつ吹出してもよく、又利用者が必要な時に随時空気の吹出しを行なえるように、空気の吹出しと遮断を制御する制御機構を設け、利用者がスイッチによりオン・オフを行なうようにしてもよい。

## 〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明のプラスチック製袋の格納装置によれば、子供や老人、または片手のふさがっている場合でも濡れた傘を簡単に収納することができる。又、スーパーマーケット等の出口の人の混み合う狭い場所で、購入品を手際よく包装することができる。

従って、従来、雨の日には、デパートやスーパーマーケット等では床が滑り危険であったが、本発明の装置を利用することにより、床がきれいに残り、転倒事故は大幅に減少し、安全に買物することが

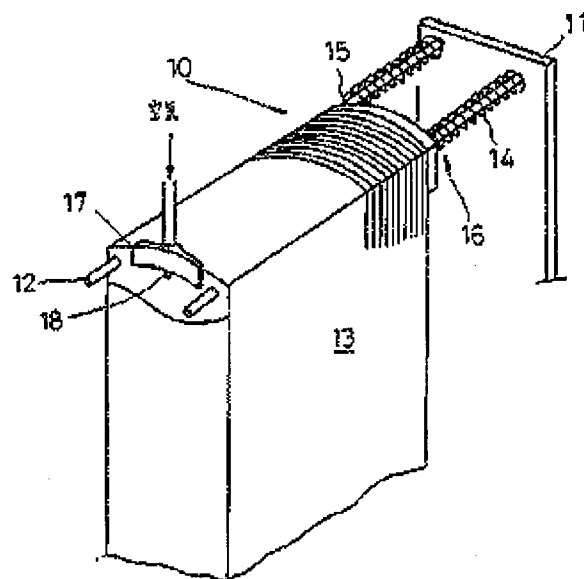
特開平4-6030(3)

## 第 1 図

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明のプラスチック製袋の格納装置の一例を示す斜視図である。

10…格納装置本体、11…側板、12…ガイド棒、13…プラスチック製袋、14…スプリング、15…プラスチック製袋押出し治具、16…バネ機構、17…ストッパー、18…空気吹出し口。



代理人 渡邊 一平